

## シマカラスヨトウ

6月頃にリンゴなど広葉樹の葉を食べるイモムシ（幼虫）。最大長約40mm。尾端近くの背面が盛り上がり、成長するとそこに黄色のトゲが生える。

リンゴやスモモでは害虫とされる。他の広葉樹では発生量は少ない。



1. 中齢幼虫，体長18mm。1993/6/14.



3. 雄成虫，前翅長19mm.



2. 老齢幼虫，体長31mm。1993/6/23.

1～3. 新得町，1993/6/14，ハルニレで採集した幼虫を飼育，撮影した。

【学名】 *Amphipyra pyramidea obscura*

【分類】 チョウ目 (Lepidoptera) ， ヤガ科 (Noctuidae)

【分布】 北海道，本州.

### 【特徴】

よく似た幼虫にオオシマカラスヨトウの幼虫がいる。この種では中胸の白斑が大きく，互いに近接する。腹部8節背面の突起はスズメガ科やシャチホコガ科の一部にもみられるが，色彩により容易に識別できる。

### 【生態】

宿主：コナラ，クヌギ，サクラ，リンゴの葉を食べるという。道内ではハルニレやポプラでも採れている。

年1化，卵越冬，成虫は7～9月にみられ，夏に休眠し，幼虫は晩春に出現するという。北海道の低山地では6月中旬に中齢幼

虫が採れ、飼育したところ6月下旬に営繭，7月下旬に成虫になった。

#### 【被害と防除】

果樹園ではリンゴ，モモ，スモモの害虫とされるが，通常の防除作業を行っていれば問題にならないようである。

発生量は一般に少なく果樹園以外では特に問題になったことはない。

#### 【文献】

1982. 井上寛ほか. 日本産蛾類大図鑑. Vol. 1: 1-968; Vol. 2: 1-556, pls 1-392. 講談社, 東京.

1986. 山口昭, 大竹昭郎, 編集. 果樹の病虫害, 診断と防除. 全国農村教育協会, 東京. (形態, 生態, 被害, 防除)

1987. 杉敏郎編集. 日本産蛾類生態図鑑: 1-453, pls 1-120. 講談社, 東京.

北海道立林業試験場・緑化樹センター

シマカラスヨトウ yaga/simakara/  
kaisetu.htm

「文章」原秀穂, 北海道立林業試験場, 1994/1/13.

1yochu1.jpg, 1yochu2.jpg, 1seichu.jpg

「写真1～3」原秀穂, 北海道立林業試験場, 1993.